

むらやま 議会だより



写真／楯岡中学校 部活動のようす

もくじ

- ◎ 6月定例会 P 2～3
- ◎ 出資法人等の経営状況報告 P 4
- ◎ 一般質問 P 5～8
- ◎ 議会活動レポート P 8～11
- ◎ 市民の声 P12



←携帯からはコチラ



円を追加 1,788万円

6月 定例会

令和7年第2回定例会は6月10日から25日までの会期で開催され、補正予算や条例の一部改正など11件の議案を原案どおり可決。また、請願1件、議員発議2件を可決しました。

未来を担う人を育むまちづくり

- 児童遊園公園管理運営事業 100万円
袖崎児童遊園のブランコの更新工事
- 校舎等整備事業 140万円
楯岡中学校体育館トイレ修繕
- 地域みらい留学参画負担金 44万円
県外高校生受入れ全国プラットフォームへの負担金

条例

- ◎ 村山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び村山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
市職員の育児又は介護を柔軟に行えるようにするものです。
- ◎ 村山市にぎわい創造活性化施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例
Link MURAYAMAの運営について今後、指定管理者制度を導入できるようにするものです。

議員発議

- ・ 発議第3号
米軍の基地に起因する諸問題から国民の生命・財産と基本的人権を守るため日米地位協定の見直しを求める意見書を国へ提出するものです。
- ・ 発議第4号
緊急自然災害防止対策事業債は令和7年度までの時限とされているが、制度延長を求める意見書を国へ提出するものです。

審議討論

議案第32・33号について
中里芳之議員より、反対討論がありました。
(左表、審議結果報告参照)



動画はこちら

一般会計予算

2億682万
総額180億



村山市公式キャラクター ムララ®



造成工事中の現場

運営事業者は株式会社リードに決定し造成が進んでいます。

どうなる！
新「道の駅」

安心して暮らせるまちづくり

- 危険空き家応急措置業務委託料 150万円
2軒の危険空き家への応急措置
- 道路新設改良事業 850万円
新「道の駅」西側道路新設

誰もが暮らしたいまちづくり

- くらし応援商品券加算事業 1,491万円
低所得世帯への追加支援

地域産業と観光が盛り上がるまちづくり

- やまがたフルーツ150周年PR資材作成委託料 50万円
村山の重点作物をPRするため
- 農業振興事業 480万円
未来を育む農業担い手育成支援

審議結果報告

(6月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市政・公明クラブ										改革クラブ	無会派	賛成	反対			
			松倉慶子	森直也	瀧田順子	吉田創	田中正信	矢萩浩次	石澤祐一	大山正弘	秋葉新一	細矢清隆	高橋菜穂子	高橋卯任			阿部正任	柴崎亮太	中里芳之
市長提出議案 第32号 村山市市税条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	13	1
市長提出議案 第33号 村山市にぎわい創造活性化施設の設置及び管理条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	×	13	1

議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。 可=可決 否=否決 ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 議=議長 裁=裁決

出資法人等の経営状況報告

村山市土地開発公社

① S*mile(スマイル)タウン新町

繰り越された用地1区画(代替地)を処分し、完売となった。第1期18区画、第2期17区画はすべて分譲、建築済で、122人が入居している。

② 村山駅西開発事業

用地交渉の結果、地権者全員から了承を得ることができ、開発行為許可申請のための準備をすすめた。また、調整池用地となる国有地(河川管理用地)取得については、売払申請を行い市が取得した。



S*mile (スマイル) タウン全景

(株)村山市余暇開発公社

株式会社として4期目を迎えた。長期化する燃料高騰及び物価高騰、さらに円安が拍車をかけ、経費額は過去最高であった令和5年度を上回る結果となった。

クアハウス基点・道の駅むらやまともに、経年劣化による施設設備の故障が相次いだ。その都度修繕を行い対応した。

村山市から長期債務の返済財源の補助を受け黒字決算になり、令和5年度に続き決算手

当を支給した。

① クアハウス基点

コロナ禍でできなかった同級会が盛んに行われるようになり、年度中盤から宿泊数が増加した。法要宴は年度終盤から増加し、観光宿泊客も順調に推移し

② 道の駅むらやま

天候不順や前年に山形市に同業施設がオープンしたこと、利用客が減少するなど、

た。閑散期には、有名歌手によるディナーショーを開催し集客を図った。

現在営業を中止をしているSPAプールは、令和8年度再開の見込みである。



令和8年度再開を見込むSPAプール

令和6年度 (株)村山市余暇開発公社の当期純損益

(単位: 円)

区分・年度	令和6年度	令和5年度	増減
クアハウス基点	△1,628,048	5,270,127	△6,898,175
道の駅むらやま	56,973	4,612,244	△4,555,271
余暇開発公社共通経費等	1,587,052	929,902	657,150
合計	15,977	10,812,273	△10,796,296

一般財団法人 村山市スポーツ協会

協会のスローガンである「スポーツ・そして健康と活力を」の実

少なからず営業面で影響を受けた。また、ここにて徐々に東北中央自動車道開通による影響が顕著にできており、総利用者数は29万3千人となり前年比約6%減となった。

現を図るため、市民一人一人スポーツの実践を目標に事業を積極的に推進している。

主催事業の「第10回むらやまリーマラソン」は4チーム54人、「第4回むらやま3×3フェスタ」は9チーム40人の参加があった。令和6年度の正味財産期末残高は、3051万円となり、前年度比28万円の減となった。



田中 正信

高齢化社会、お互いさまで 共に生きるまちを

答弁 地域における
「共生社会」を目指す

動画はこちら



Q 高齢者人口は、40%を超えた。住み慣れたまちで安心して充実した暮らしができるよう、「高齢者福祉」の基本的な考え方にどう伺う。

A 「お互いさまで共に生きるまち」村山市高齢者支援事業一覧を配布した。老人クラブへの補助事業を始め、31事業に及ぶ細かい支援に取り組んでいる。

その基本的な考えを踏襲するとともに、一層の事業の充実に取り組んでいく。
Q 独居高齢者を支える各地区ごとの「ふれあい会」を設立してはどうか。
会の事業目的は2つで、1つは独居高齢者を支え助ける清掃や草取りなどのボランティア活動。もう1つは、

ボランティア活動をする人と独居高齢者が一緒にふれあいの場を楽しむ活動が考えられるかどうか。

A 独居高齢者を支える体制の整備は喫緊の課題である。前向きに研究、検討していく。

Q 全国では、介護ケアを受けられない訪問介護難民が増えているといわれる。本市の現状について伺う。

A 本市はそのような緊迫した状況はないが、「介護難民」にならないよう、引き続き配慮していく。



地区住民によるボランティア活動



吉田 創

生産者と消費者を守るため お米券の配布を

答弁 1人4千円の商品券を役立ててほしい

動画はこちら



Q 米価の上昇は農家にとって、喜ばしい一方、消費者には買にくい状況である。ここ数年肥料や農機の価格が高騰している。農家の方が、今年も米を作ろうと思える価格、そして消費者も納得できる価格はいくらか。

A 農家が継続的に米作りできる適正価格は5キログラムあたり4千円前後と考える。2300円では赤字で農業継続が困難となるため、持続可能な価格設定が必要。消費者支援として1人4千円の商品券を配布し、負担軽減を行っている。

Q 水稲新品種の名称「ゆきまんでん」は、3千件以上の応募の中から、本市の小学5年生の案が選ばれた。大いにPRを。

A 本市ゆかりの品種としてPRしていく。

Q 本市のお米を守るための今後の方向性は。

A 農地集積や基盤整備の大区画化を進め、スマート農業による省力化や生産性向上を目指していく。

Q ツキノワグマなど街なかでの目撃情報や出没が多くなっているが対応は。

A ツキノワグマなど住宅地出没対応マニュアルに基づき、人的被害を防ぐために警察・猟友会との関係機関と連携し、安全確保に努めている。



小学生の田植えの様子



瀧田 順子

東沢公園の現状と課題について

答弁 市民の負託に
対応し発展に努める

動画はこちら



Q 東沢バラ公園内の親水広場は市民の憩いの場になったが、80haの都市公園をどのように生かしていくのか伺う。

A バラ公園だけでも多額の維持費がかかっているので80ha全部を發展させることは難しいが、少しずつマイナーチェンジをしていく。

Q 歴史的財産のある楯山、シビックプラウドにもつながることを踏まえ整備はできているのか。

A 楯岡の町内会ごと
に担当コースの草刈りを実施しているが、バラ公園と同じようには出来ない。

Q バラ交流館は公園に似合う建物だとお客様には人気だが、飲食メニューや使い勝手などで指摘を受けて



公園の魅力をアップするバラ交流館

いる。改善を考えないのか。

A 今はトイレ洋式化や園路の危険個所の修繕を優先して行っているが、交流館の機能改善を認識しているので、検討していく。

Q 東沢ため池側の市道は独自調査の結果、生活道路として必要と答えた方が多かったが、これからのように考えるのか。

A 山道ではあるが、朝・夕の通勤時に使用される方がいると考えている。安全性を保つために、見直しが必要。

Q 公園の未来をどう考えるか。

A 市民のために発展できるような時代の変遷に対応しながら進めていく。



松倉 慶子

学童保育施設の現状、統合後の在り方を問う

答弁 制度がまだ途中、様子を見ながら検討する

動画はこちら



推移を見ながら検討していく。

Q 現在の学童保育の在り方、統合後の考えについて伺う。

A トータルのな事は考えていないが良い環境でない所もある。きちんとした制度になる前の途中であり今後

その他の質問
・5歳児健診について

Q 令和10年度、11年度に小学校統合計画がある。統合後の学童保育をどのように設置していく予定か。

A 西部地区について、現在使用している各小学校の施設を継続して使用し学童保育を行うことも一つの案として検討している。

東部地区においても学童保育利用児童数の



多くの子どもたちが利用している学童保育施設



高橋 卯任

収益減少の中、水道インフラ整備への対策は

答弁 必要な時は値上げする

動画はこちら



Q 全国的に、水道管の損傷などによる漏水事故や水道料金値上げが報道されている。水道管の老朽化と人口減少による収入減によって老朽管更新費用を考慮しているためのようだ。本市にもこの状況が当てはまると思うが、本市の老朽管はどれくらいあるか。

A 本市の水道管の総延長は239.5km。そのうち更新が必要な老朽管は11.6kmで、全体の4.8%となっている。

Q 更新費用はどれくらいか。

A 近年の物価高騰により工事費も上がっている。メーター単価約1万円かかることから、老朽管更新工事にかかる概算費用は、約11億6千万円と見込んでいる。

んでいる。

Q 本市でも人口減少に伴い給水収益は減るが、老朽管更新など水道インフラ維持費用は増える。どんな対策を考えているか。

A 本市では、収入が多ければ料金を下げる、足りなくなれば上げるとしてきた。今後も値上げが必要なきは上げる、収益が余ったときは下げるということでやっていく。

Q 現状の課題を、市民に広く知ってもらう、水道事業の安定経営に努めてほしい。

A 本市では、収入が多ければ料金を下げる、足りなくなれば上げるとしてきた。今後も値上げが必要なきは上げる、収益が余ったときは下げるということでやっていく。

その他の質問
・令和7年8月の市長選挙に向けて



わたしたちの生活に欠かせない水道



中里 芳之

補聴器購入費助成制度の創設を

答弁 今やるとは言えないが

検討する

動画はこちら



検討する。

Q 東京23区の屋内熱中症死亡者の9割が、エアコンの不使用方法は未設置だった。背景には、物価高騰などによる生活費の節約がある。全市民、特に生活保護世帯や低所得者、高齢者世帯が省エネエアコンを購入しやすくなるよう、購入費助成や電気代補助を。

A 来年度予算に携わることができたら検討する。

Q 避難所でもある楯岡中学校・葉山中学校体育館にスポットクーラーが導入されているがデメリットもある。子どもたちや避難者の安全のために、国の新交付金を活用し、きちんとした空調システムの整備を。

A 当然、新交付金の趣旨に着目し、関係部署と連携し整備を検討していく。

A 次期高齢者福祉計画に反映させるか



部分的にしか冷えないスポットクーラー (葉山中学校)



大山 正弘

総合計画の目指すものは

答弁 市民のための環境づくりが最重要課題である

動画はこちら



Q 本市は総合計画を策定し、住民生活を向上するためのサービスを提供してきた。第6次総合計画が今後10年で目指すまちづくりについて伺う。

A 目指すものは「市民のための環境づくり」と考える。過去の総合計画の内容は、10年先を見据えたものであったが、その想定は難しかったと思われる。建物建設などのハード事業はあまりなく、市民の生活を向上させるための施策が中心であった。

Q 市内の里山は各地域に存在するが、人口減少とともに管理体制の維持が困難になっていくと考える。今後のまちづくりとしての森林や里山のあり方を伺う。

A 森林経営管理制度の運用が始まり、本市は区域内の森林の経営管理を円滑に行うため必要な措置を講ずるよう努めてきた。しかし、所有者が不明で調査できない所もある。今年度は林業経営者と相談しながら経営管理が行われていない箇所

を選定、エリアを限定しモデル地区として意向調査を実施する準備から始めたいと考えている。荒れた森林を減らすには、所有者が行政と一緒に取り組んでいくことが結果的にまちづくりにつながると考える。



第6次村山市総合計画を策定

ご存知ですか？バラ議会（6月定例会）

今年も6月定例会初日に、議員、市長をはじめ執行部全員が、胸にバラのコサージュをつけて議場に入りました。議場演壇には色鮮やかなバラのアレンジメントが飾られ、バラの優美さと、議場の雰囲気マッチし、議場がバラの香りいっぱいになりました。

毎年6月に東沢バラ公園で開催されているバラまつりを広くPRすること、またより多くの市民の皆様から議会に関心を持っていただきたいと考えて始めたバラ議会は、今回で4回目となりました。

バラ議会のようなすが各メディアにて紹介され議会傍聴に来る市民の方が増えてきていることから、開始当初の目的が少しずつ浸透してきていると感じています。

今後も6月定例会をバラ議会として企画していく予定です。色とりどりのバラと同様に、議員も多角的な視点で質問しながら審議、議論を交わし、市民の声を市政に反映していくよう努めているところです。バラ議会に限らず、これからの定例会にも多くの市民から議場にお越しいただきたいと思ひます。



テレビ局から取材を受ける高橋議長



バラも議員の笑顔も満開

●5月14日

・静岡県浜松市

鳥獣被害対策について

浜松市は沿岸の都市部から長野県境の山間部まで、広大な面積を有します。

鳥獣被害は中山間地に見受けられ、主にニホンジカ、イノシシによるものです。被害は果樹・稲・野菜など多岐に及びます。近年ニホンジカの生息数が増え、捕獲頭数は、イノシシと合わせ年間2千頭前後となっています。令和5年度農作物被害額は3700万円にも及びます。

浜松市は市職員や農家を中心とした鳥獣被害対策実施隊を設置し、防護柵設置の研修会や園地・地区巡回を行っています。

また「自分たちの農地は自分で守る」という考えのもと、農家自ら「くくりワナ」の農免許を取得し効果を得

ていました。

ともに活動する猟友会メンバーは、若手を含め会員数も豊富でした。免許取得・更新時の助成や捕獲報奨金は、市独自であったり、国・県の助成も活用して高額でした。



鳥獣被害について説明を受ける

●5月15日

・静岡県富士市

富士信用金庫

まちづくりファンドと

市街地活性化について

富士山の南麓に広がる富士市。この街でも人口減少や少子化で空き店舗・空き家が増え、街の空洞化が課題となっています。

このような中、地元富士信用金庫では、民都機構と連携してマネジメント型「まちづ

くりファンド」を組織し、地域の課題解決を目指していました。

事業内容は、空き店舗のリノベーションや新築で施設を整備し運営する事業者（物販・飲食・宿泊施設・オフィス・子育て支援・交流拠点施設）を資金面などで後押しするものです。

商店街の現場視察も行い、新たに活用され賑わいを取り戻しつつある姿を見てきました。



商店街再生、活性化の視察

・富士市役所

中心市街地活性化の

取り組みについて

富士市には市町村合併以前、旧吉原駅前、旧富士駅前の大きな商店街がありました。人口減少や高齢化で、両商店街とも来客数は減少し空き店舗は増加するなど、賑わいを取り戻せない状況にありました。

富士市は、中心活性化基本計画を策定し、富士駅・吉原駅周辺2地区の活性化に取り組んでいました。

他にも、市や市商工会議所が中心となりさまざまな街なかの賑わい事業を行っています。

「あなたも商店主事業」では、新たに開業したい人や、お試して店を出してみたい人に、アドバイザーや補助金などで支援を行っています。昨年度末で56店舗の開業に至っています。また「まちあそび人生ゲーム」では、子どもから保護

者・大人も含め、まちの賑わいづくりを行っています。



富士山を背景に質疑を交わす

●5月16日

・静岡県伊豆市

鳥獣被害対策について

伊豆市は伊豆半島の中央部に位置し、周辺は山間部が多くニホンジカが多数生息しています。伊豆市界隈には2〜3万頭もいるのではないかとこのことでした。

そのため古来より狩猟文化も盛んで、177人の猟友会メンバーで捕獲隊を編成しています。捕獲実績は

令和5年度で4千頭を超え、報奨金の高額設定や出役手当、ハンター保険の市負担など手厚く行われていました。

また、集落ぐるみで広域的に取り組む地区への、ワイヤーメッシュ柵無償提供の国の制度も活かされています。

市の取り組みとして、豊富な捕獲個体数を活かしたジビエ加工も盛んでした。専用の加工所を整備し、年間7〜8千頭のニホンジカの加工肉を地元の特産品として販売しています。



イズシカ問屋商品



●6月16日

「森林保全と林業の現状」について、「分収林更新伐事業」の視察を行いました。尾花沢市赤沢地内で、森林整備センター山形水源林整備事務所が発注しています。

現場は、銀山温泉へ向う途中から林道に入り「尾花沢サーキット」前を通過し、尾花沢市街を見渡せる山の中でした。



伐倒、枝払い、造材まで行うハーベスター

北村山森林組合の職員から分収林更新伐事業の説明があり、事業量としては、

- ・皆伐面積 4・30 ha
- ・皆伐林積 730 m³
- ・2・0 m・4・0 m材 650 m
- ・作業道開設
- ・再造林
- カラマツ 5900本
- スギ小花粉 4000本
- ・事業期間 令和7年6月2日～11月20日

事業費は国・県から補助があります。

60年物のスギの木を伐採し、将来高値になりそうな「カラマツ」とほとんど花粉を出さない「スギ小花粉」を今秋に植林します。

伐採したスギは、2・0 mと4・0 mに切れ、太さが46 cm以内は用材として使用し、それ以上または端材はバイオマスに利用されま

す。作業を行っている山形県木材業協同組合の海藤林産の職員からは使用機械の説明を受けました。

特に、伐倒・枝払い・造材まで行える「ハーベスター」は、爆音を響かせながらまたたく間に一本のスギを処理し、そのようすは圧巻でした。

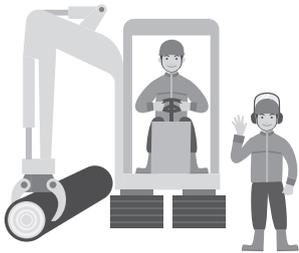
森林の健全な状態を維持・回復し、持続可能に管理していくことが森林保全であり、環境・生物多様性・人間社会のバランスを守るうえで非常に重要な取



一週間で切り出された用材

り組みです。

また、林業においても人材不足であり、林業に携わる若者は増えているものの、重機に乗りたい人が多く、下刈りをする人が不足しているとのことでした。晴天のもと、林業に関して学ぶことができました。



令和6年度 政務活動費収支報告

会派名	交付額 (円)	執行額 (円)	残額 (円)
市政・公明クラブ (12人)	1,440,000	1,340,125	99,875
改革クラブ (2人)	240,000	176,532	63,468
日本共産党村山市議団 (1人)	120,000	120,000	0
合計	1,800,000	1,636,657	163,343

☆政務活動費とは…

地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として会派に対し交付されます。本市では「村山市政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人当たり月額10,000円を交付しています。収支報告書には領収書等を添付し、残余額は市に返還しています。

市ホームページで行政視察の内容、領収書等を公開しております。

議会活動

活性化推進議員連盟 県縦断伝競走大会応援

● 4月28日

2日目は新庄から長井までの113・4kmを走ります。3日間で一番長い距離なので順位が大きく変動することがあります。

市議会は、中継所の山形銀行楯岡支店前で横断幕をみんなで掲げて応援しました。

1日目9位だった北村山チームは、14区尾花沢村山間で一気に差を縮め4位となり、市民や議員が応援する中



北村山チームがたすきを繋ぐ

その勢いのまま村山中継所を通過しました。

2日目のゴールでは6位となりましたが、1日目よりも順位を上げ3日目に繋ぎました。

大久保小学校議場見学

● 5月27日

大久保小学校3年生の児童10名が、校外学習で議場見学に訪れました。

校外学習のコースは、市内の観光農園や最上川美術館、Link MURAYAMA、東沢バラ公園、農協を見学。市役所では市長室と議場を見学しました。

議場では、職員から議会について説明を受け、児童からは市役所の仕事や議会の役割について質問がありました。



議場にて議員の模擬体験

た。初めて入る議場で実際に議長席に腰掛けてみたり、マイクなどの音響設備にも興味津々の様子で楽しく学習していました。議会を身近に感じてもらえるいい機会となりました。

表彰状の伝達

● 6月10日

市議会定例会の本会議において、表彰状の伝達が行われました。

これは第101回全国市議会議長会定期総会において、村山市議会議員として25年在職し、市政の発展に尽くされた功績により表彰されたもので、大山正弘議員、中里芳之議員に表彰状を伝達しました。



中里芳之 議員



大山正弘 議員

4月

- 3日 広報広聴委員会
- 9日 広報広聴委員会・会派代表者会議
- 10日 議会運営委員会・活性化推進議員連盟役員会
地区代表会議・地区代表連絡協議会総会
- 11日 県市議会議長会定期総会
産業厚生常任委員会協議会
- 13日 陸上自衛隊第六師団創隊63周年
神町駐屯地創立69周年記念行事
- 15日 広報広聴委員会
- 16日 総務文教常任委員会協議会
- 21日 全員協議会・議会活性化委員会
総務文教常任委員会協議会
- 22日 市統計調査員協議会総会
- 23日 市老人クラブ連合会定期総会
市身体障害者福祉協会総会
- 24日 東北市議会議長会定期総会
- 27日 市消防大演習
- 28日 県縦断駅伝競走大会応援
- 29日 稲下鹿子踊奉納

5月

- 2日 産業厚生常任委員会協議会
- 6日 市自衛隊家族会総会
- 7日 県及び市町村長・議長会議
- 9日 北村山地区保護司会村山分会総会
- 14日 産業厚生常任委員会行政視察（～16日）
- 16日 市ものづくり産業振興会懇親会
- 17日 徳内ばやし振興会総会
- 20日 全国市議会議長会定期総会
- 21日 全員協議会・産業厚生常任委員会協議会
北村山地区保護司会総会
- 22日 市商工会通常総代会
- 23日 市芸術文化協議会総会
- 27日 村山地区防犯協会連合会総会
- 28日 市民生委員児童委員協議会総会
総務文教常任委員会協議会
- 30日 緊急時浄水施設整備事業竣工式
パラまつり2025オープニングセレモニー
- 31日 50回記念創琢書道展祝賀会

6月

- 4日 議会運営委員会・広報広聴委員会
総務文教常任委員会協議会
- 7日 みちのく村山農業協同組合通常総代会
- 8日 市書道会筆供養
- 10日 全員協議会・本会議・予算特別委員会
- 12日 一般質問・会派代表者会議
- 13日 一般質問
- 16日 活性化推進議員連盟林活研修会
- 17日 市シルバー人材センター定時総会
- 18日 予算特別委員会・議会活性化委員会
会派代表者会議
- 19日 総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会協議会
- 21日 全国各流居合道さくらんぼ大会歓迎会
- 22日 全国各流居合道さくらんぼ大会開会式
- 24日 常任委員長会・議会運営委員会
- 25日 全員協議会・予算特別委員会・本会議
- 27日 令和8年度重要事業要望
(北村山地域振興局・県庁)
広報広聴委員会
- 29日 ブルガリアフェア



さいとう かずお
齋藤 一雄さん
(大倉)

～フットパス活動への思い～

「むらやま大倉フットパス」は平成30年のグランドオープンから数えて8年目を迎えました。この間コロナ禍がありましたが、活動が途絶えることはありませんでした。コースも1つ増え、現在4つのコースが大倉地域をつないでいます。嬉しいことに、リピーターの方が増えてきています。また、東北各地のフットパス活動との交流も始まりました。福島県西郷村、宮城県柴田町、そして県内では長井市です。

私たちの活動の推進力は実行メンバーの郷土愛であり、またここまで続けてこられたのは、自分たちも楽しんで活動してきたからだと思っています。フットパス活動に取り組んで、地域の宝物をたくさん発見することができました。市民の皆様、ぜひ大倉のフットパスコースを歩いてみて下さい。ふるさとの良さ、村山市の素晴らしさを感じることができると思います。



満水の大倉ため池を一周する



新山地区内を歩く



全国大会で事例発表（兵庫県豊岡市）

〈表紙写真〉

楯岡中学校には、11の部活動（野球部、陸上競技部、男女バスケットボール部、卓球部、柔道部、剣道部、新体操部、吹奏楽部、美術部、情報科学部）があり、仲間とともに自身の技術と体力の向上に励んでいます。先日、定期演奏会を終えた吹奏楽部は、「全力疾奏～輝け！虹色のハーモニー～」をスローガンに、誰もが感動する楯中サウンドを目指し、支えてくださる地域の皆様にも感謝の気持ちを音楽に込めて届けられるように頑張っていました。



委員長
副委員長
委員

広報広聴委員会

細矢 清隆
高橋 卯任
中里 芳之
田中 正信
阿部 正任
瀧田 順子
森 直也
松倉 慶子

本格的な夏を迎え、今年も猛暑が続いています。熱中症予防のためにも、体調管理に充分配慮されてお過ごしください。

あとがき

村山市公式LINE

村山市公式LINEアカウントでは、防災、子育て、イベント情報など、さまざまな情報を配信していきます。ぜひ、友だち登録をしてご活用ください。



LINE アプリ内
[友だち追加]で
二次元コードを
読み取ってください！→

